

足利市民プラザ条例（平成17年3月25日条例第20号）

最終改正:令和5年12月22日条例第23号

改正内容:令和5年12月22日条例第23号〔令和6年2月1日〕

○足利市民プラザ条例

平成17年3月25日条例第20号

改正

平成17年12月21日条例第51号
平成19年6月26日条例第18号
平成24年12月20日条例第46号
平成26年3月24日条例第6号
令和元年9月26日条例第8号
令和2年12月22日条例第31号
令和3年3月30日条例第13号
令和5年12月22日条例第23号

足利市民プラザ条例

（設置）

第1条 市民文化の向上及び市民福祉の増進を図るため、足利市民プラザ（以下「市民プラザ」という。）を設置する。

（位置）

第2条 市民プラザの施設及び位置は、次のとおりとする。

施設	位置
本館、文化ホール、西館及び身体障がい者スポーツセンター	足利市朝倉町264番地
別館	足利市田所町1107番地

（事業）

第3条 市民プラザは、次の事業を行う。

- (1) 文化事業を開催すること。
- (2) 身体障害者のためのスポーツ事業を開催すること。
- (3) 利用者に必要な助言及び指導を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

（所管）

第4条 市民プラザの管理は、市長の委任に基づき、足利市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が所管する。

（指定管理者による管理）

第5条 市民プラザの管理は、法人その他の団体であって、教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせる。

（指定管理者が行う業務）

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 市民プラザの維持及び管理に関する業務のうち教育委員会が定めるもの
- (2) 第3条各号に掲げる事業の計画及び実施に関すること。
- (3) 市民プラザの施設及びこれに附属する器具等（以下「施設等」という。）の使用の許可に関すること。
- (4) 前2号に掲げるもののほか、市民プラザの運営に関する業務（教育委員会のみの特権に属するものを除く。）

（開館時間）

第7条 市民プラザの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。ただし、指定管理者は、教育委員会の承認を得てこれを変更することができる。

（休館日）

第8条 市民プラザの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

- (1) 毎月第3火曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたる場合は、当該休日後の直近の休日でない日とする。
- (2) 12月29日から翌年1月3日まで

（使用の許可）

第9条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、その使用が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可を与えないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 施設等を破損するおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げる暴力団その他団体的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、施設等の管理上支障があると認めるとき。

3 指定管理者は、施設等の管理上必要があると認めるときは、第1項の規定による許可に条件を付することができる。

（使用の制限）

第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可の内容を変更し、又は許可を取り消し、若しくは使用の中止を命ずることができる。

- （1）施設等を使用する者（以下「施設等の使用者」という。）が許可を受けた使用の目的に違反したとき。
- （2）施設等の使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは指定管理者の指示した事項に違反したとき。
- （3）施設等の使用者が偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- （4）天災地変その他の避けることができない理由又は公益上の理由により必要があると認めるとき。
- （5）前各号に掲げる場合のほか、施設等の管理上特に必要と認めるとき。

2 指定管理者は、その責めに帰さない理由により、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは使用の中止を命じた場合において、施設等の使用者に損害が生じても、その賠償の責めを負わないものとする。

（施設等の使用料）

第11条 施設等の使用者は、指定管理者に施設等の使用料を前納しなければならない。ただし、指定管理者が後納を認めるときは、この限りでない。

2 施設等の使用料の額は、施設の使用にあつては別表第1に、施設に附属する器具等の使用にあつては別表第2に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定めるものとする。ただし、その合計額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

（使用料の収入）

第12条 教育委員会は、施設等の使用料を当該指定管理者の収入として収受させる。

（使用料の減免）

第13条 指定管理者は、規則で定める事由に該当するときは、施設等の使用料を減免するものとする。

（使用料の還付）

第14条 指定管理者は、規則で定める事由に該当するときは、既に納入された施設等の使用料を還付するものとする。

（使用権の譲渡等の禁止）

第15条 施設等の使用者は、施設等の使用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

（行為の禁止）

第16条 市民プラザにおいては、教育委員会の許可を受けないで次に掲げる行為をしてはならない。

- （1）別表第1に掲げる施設以外において、物品の販売をすること。
- （2）募金その他これらに類する行為をすること。
- （3）業として写真又は映画を撮影すること。
- （4）別表第1に掲げる施設以外において、興行を行うこと。

2 第9条第2項及び第3項の規定は、前項の場合について準用する。

（原状回復の義務）

第17条 施設等の使用者は、その使用が終わったとき又は第10条第1項の規定により許可を取り消され、若しくは使用の中止を命ぜられたときは、その使用した施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、指定管理者の承認を得たときは、この限りでない。

（損害賠償の義務）

第18条 施設等の使用者は、施設等を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

（教育委員会による管理）

第19条 教育委員会は、市民プラザの管理を行わせる指定管理者を指定する暇がないときその他やむを得ないときは、第5条、第6条及び第12条の規定にかかわらず、その管理を行い、及び使用料を収受する。

2 前項の場合においては、第7条中「指定管理者は、教育委員会の承認を得て」とあるのは「教育委員会は、必要があると認めるときは、」とし、第8条中「教育委員会の承認を得たときは、この限りでない」とあるのは「教育委員会は、必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は閉館することができる」とし、第9条、第10条及び第11条第1項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」とし、同条第2項中「指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て」とあるのは「教育委員会が」とし、第13条、第14条及び第17条中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」とする。

（委任）

第20条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日等）

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第5条、第6条及び第12条の規定は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間におけるこの条例の規定の適用については、第19条第2項の規定の例により読み替えて適用する。

（足利市総合会館条例等の廃止）

3 次に掲げる条例は、廃止する。

- （1）足利市総合会館条例（昭和55年足利市条例第32号）
- （2）足利市総合会館センター条例（昭和55年足利市条例第33号）
- （3）足利勤労福祉センター条例（昭和55年足利市条例第35号）
- （4）足利勤労身体障害者スポーツセンター条例（昭和55年足利市条例第36号）

（経過措置）

4 平成17年4月1日前に前項の規定による廃止前の同項各号に掲げる条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

5 第3項の規定による廃止前の足利勤労福祉センター条例中足利勤労福祉センターの食堂使用料に関する規定は、平成17年4月1日以後も、平成18年3月31日までの間は、なおその効力を有する。

6 平成18年4月1日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

（足利市民会館等運営委員会条例の一部改正）

7 足利市民会館等運営委員会条例（平成7年足利市条例第31号）の一部を次のように改正する。

第1条中「足利市総合会館」を「足利市民プラザ」に改める。

附 則（平成17年12月21日条例第51号）

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成19年6月26日条例第18号）

この条例は、平成19年7月1日から施行する。

附 則（平成24年12月20日条例第46号）

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 足利市行政財産使用料条例（昭和60年足利市条例第15号）の一部を次のように改正する。

別表第2市民プラザ食堂・売店の項を削る。

附 則（平成26年3月24日条例第6号抄）

（施行期日）

第1条 この条例は、平成26年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

（足利市民プラザ条例の一部改正に伴う経過措置）

第33条 第34条の規定による改正後の足利市民プラザ条例別表第1及び別表第2の規定は、施行日以後の足利市民プラザの施設等の使用に係る施行日以後に納付される使用料について適用し、施行日前の足利市民プラザの施設等の使用に係る使用料及び施行日以後の足利市民プラザの施設等の使用に係る施行日前に納付される使用料については、なお従前の例による。

附 則（令和元年9月26日条例第8号抄）

（施行期日）

第1条 この条例は、令和元年10月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

（足利市民プラザ条例の一部改正に伴う経過措置）

第28条 第29条の規定による改正後の足利市民プラザ条例別表第1及び別表第2の規定は、施行日以後の足利市民プラザの施設等の使用に係る施行日以後に納付される使用料について適用し、施行日前の足利市民プラザの施設等の使用に係る使用料及び施行日以後の足利市民プラザの施設等の使用に係る施行日前に納付される使用料については、なお従前の例による。

附 則（令和2年12月22日条例第31号）

（施行期日）

1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。

（足利市研修センター条例の廃止）

2 足利市研修センター条例（平成17年足利市条例第16号）は、廃止する。

（足利市男女共同参画センター条例の一部改正）

3 足利市男女共同参画センター条例（平成17年足利市条例第9号）の一部を次のように改正する。

第7条第1号中「毎週火曜日」を「毎月第3火曜日」に改める。

（準備行為）

4 この条例による改正後の足利市民プラザ条例（以下「新条例」という。）の規定による別館の使用に関し必要な手続、申請その他の準備行為は、この条例の施行の日前においても、新条例の規定の例により行うことができる。

附 則（令和3年3月30日条例第13号）

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

2 この条例による改正後の足利市民プラザ条例（以下「新条例」という。）の規定によるプラザサロンの使用に関し必要な手続、申請その他の準備行為は、この条例の施行の日前においても、新条例の規定の例により行うことができる。

附 則（令和5年12月22日条例第23号）

（施行期日）

1 この条例は、令和6年2月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

（準備行為）

2 この条例による改正後の足利市民プラザ条例（以下「新条例」という。）の規定によるプラザサロン1号室及びプラザサロン2号室の使用に関し必要な手続、申請その他の準備行為は、この条例の施行日前においても、新条例の規定の例により行うことができる。

（経過措置）

3 この条例の施行日前に、この条例による改正前の足利市民プラザ条例別表第1の3 西館使用料の表プラザサロンの項の規定によりなされた施行日以後の使用に係る処分、手続その他の行為は、新条例別表第1の3 西館使用料の表プラザサロン1号室の項の規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

4 新条例別表第1の3 西館使用料の表の規定は、施行日以後の足利市民プラザの施設等の使用に係る使用料について適用し、施行日前の足利市民プラザの施設等の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1（第11条関係）
1 文化ホール使用料

使用区分		定員	午前	午後	夜間	全日	摘要
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで	
文化ホール	平日	826人	14,300円	19,800円	25,300円	49,500円	舞台、ホワイエを含む。
	土曜日		17,600円	25,300円	33,000円	64,900円	
	日曜日 祝日						
舞台のみの 場合	平日		4,180円	5,720円	7,590円	14,740円	
	土曜日		5,280円	7,590円	9,900円	19,030円	
	日曜日 祝日						
ホワイエの みの場合	平日		1,760円	2,530円	3,300円	6,490円	
	土曜日		2,310円	3,300円	4,400円	8,360円	
	日曜日 祝日						
楽屋	第1		330円	440円	550円	1,100円	
	第2		660円	880円	1,100円	2,200円	
	第3		990円	1,320円	1,650円	3,300円	
リハーサル室		50人	1,650円	2,200円	2,750円	5,610円	
サークル室	第1	20人	660円	880円	1,100円	2,200円	
	第2	20人	660円	880円	1,100円	2,200円	

2 本館使用料

使用区分	定員	午前	午後	夜間	摘要
		午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	
101号室	80人	2,420円	3,850円	4,950円	
102号室	45人	880円	1,650円	2,420円	

3 西館使用料

使用区分	定員	午前	午後	夜間	全日	摘要
		午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで	
小ホール	450人	7,700円	11,000円	14,300円		
プラザサロン 1号室	90人	2,970円	4,400円	5,940円	10,640円	
プラザサロン 2号室	30人	1,100円	1,650円	2,200円	3,960円	
美術教室	30人	1,650円	2,420円	3,300円		
染色教室	20人	1,650円	2,420円	3,300円		
陶芸教室	20人	1,650円	2,420円	3,300円		
301号室	100人	3,300円	4,840円	6,600円		
302号室	25人	880円	1,650円	2,420円		
303号室	25人	880円	1,650円	2,420円		
401号室	100人	3,300円	4,840円	6,600円		
402号室	20人	550円	1,100円	1,650円		
403号室	20人	550円	1,100円	1,650円		
404号室	10人	550円	1,100円	1,650円		

4 身体障がい者スポーツセンター使用料

使用区分	午前	午後	夜間	全日
	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで
個人使用	110円	130円	190円	430円
団体使用（10人以上）	770円	990円	1,320円	3,080円

5 別館使用料

使用区分	定員	午前	午後	夜間	摘要
		午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	

第1研修室	120人	3,300円	4,950円	6,600円	
第2研修室	54人	1,650円	2,530円	3,410円	
第3研修室	24人	820円	1,650円	2,470円	
301号室	4人	220円	330円	440円	
302号室	8人	250円	380円	500円	
303号室	8人	250円	380円	500円	
304号室	8人	250円	380円	500円	
305号室	8人	250円	380円	500円	
306号室	8人	250円	380円	500円	
307号室	8人	250円	380円	500円	
308号室	8人	250円	380円	500円	
309号室	8人	250円	380円	500円	
310号室	8人	320円	490円	640円	
311号室	8人	320円	490円	640円	
312号室	8人	320円	490円	640円	

備考

- 1 使用料は、消費税及び地方消費税を含む。
- 2 文化ホール使用の者がリハーサルのため使用する場合は、それぞれの使用区分に応じた規定使用料の100分の30を乗じて得た額とする。
- 3 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている身体障害者が身体障がい者スポーツセンターを使用する場合は、無料とする。
- 4 使用時間を超過した場合は、超過時間1時間（1時間に満たない端数は、これを1時間とする。）につき、規定使用料の100分の30を徴収する。
- 5 市民以外の者が使用する場合は使用料（以下「特定使用料」という。）は、規定使用料の100分の50を加算した額とする。ただし、両毛広域都市圏総合整備推進協議会を構成する市町村の住民は、市民とみなす。
- 6 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収する場合は使用料は、規定使用料又は特定使用料に次に定める率を乗じて得た額を加算した額とする。
 - （1）入場料1,500円未満のとき 100分の50
 - （2）入場料1,500円以上のとき 100分の100
- 7 物品の販売を目的として使用する場合は、規定使用料又は特定使用料の100分の100を加算した額とする。

別表第2（第11条関係）

1 舞台関係器具等使用料

品名	単位	使用料	摘要
ピアノ(A)	1台	8,800円	
ピアノ(B)	1台	5,500円	
ピアノ(C)	1台	3,300円	
エレクトーン	1台	3,300円	
ビデオプロジェクター	一式	A 3,300円	文化ホール
		B 1,650円	小ホール、会議室
スライド映写機	一式	1,650円	
スクリーン	一式	A 1,650円	文化ホール
		B 550円	小ホール
反響板(ライト付)	一式	11,000円	
所作台	一式	A 11,000円	文化ホール
		B 5,500円	小ホール
竹羽目	一式	1,650円	
演壇	一式	A 1,100円	文化ホール
		B 550円	小ホール
平台	1台	A 550円	6尺幅
		B 330円	4・3尺幅
		C 220円	2尺幅
金屏風	1双	A 3,300円	文化ホール
		B 1,100円	小ホール
銀屏風	1双	3,300円	文化ホール
地がすり	1枚	1,650円	
リノリューム	一式	2,200円	
パンチカーペット	一式	1,650円	
緋毛せん	1枚	330円	
譜面台	1台	220円	
指揮者用譜面台	1台	330円	
指揮台	1台	550円	
大太鼓	1台	1,100円	
上敷	1枚	220円	8畳分
楽器演奏者用椅子	1台	220円	
司会台(マイクB1本付)	1台	1,650円	
舞台仕込	1回	3,300円	

2 照明関係器具等使用料

品名	単位	使用料	摘要
舞台フットライト	1回路	550円	
花道フットライト	1列	1,100円	
ボーダーライト	1回路	A 550円	文化ホール
		B 330円	小ホール
ホリゾントライト	1列	A 2,750円	文化ホール
		B 550円	小ホール
サスペンションライト	1台	A 330円	1KW
		B 165円	0.5KW
サイドスポットライト	1台	A 330円	1KW
		B 165円	0.5KW
クセノンピンスポットライト	1台	3,300円	
シーリングスポットライト	1台	A 330円	1KW
		B 165円	0.5KW
ステージ用スポットライト	1台	330円	
トーマンタルスポットライト	1台	330円	
ハロゲンスポットライト	1台	1,650円	
パーライト	1台	165円	
ソースフォー	1台	165円	
ストロボマシン	一式	1,650円	
オーバーヘッドマシン	一式	3,300円	

エフェクトマシン	一式	1,430円	
カレイドマシン	一式	1,100円	
ミラーボール	1台	1,100円	
オーロラマシン	一式	1,100円	
星球	一式	2,200円	
ビーマックス	1台	330円	
プリズムマシン	一式	1,100円	
ストリップライト	1台	330円	
ミニブルートライト	1台	1,100円	
スタンド	1台	220円	
タワースタンド	1台	880円	
ディスクマシン	一式	1,100円	
フレネルスポットライト	1台	660円	
スパイラルマシン	一式	1,100円	
ブラックライト	一式	1,100円	
スライドキャリア	1台	220円	
持込器具	1KW	220円	
照明仕込	1時間	1,650円	

3 音響関係器具等使用料

品名	単位	使用料	摘要
拡声装置(マイクB1本付)	一式	A 3,300円	文化ホール
		B 1,650円	小ホール
エレベーター(マイクロホン用)	1本	1,100円	
マイクロホン(A)	1本	1,650円	
マイクロホン(B)	1本	1,100円	
ワイヤレスマイクロホン(A)	1本	2,200円	
ワイヤレスマイクロホン(B)	1本	1,100円	チューナー等を含む。
吊りマイクロホン	一式	1,100円	
音響プレーヤー	1台	1,100円	
マイクスタンド	1本	330円	
移動ミキシング	1台	1,650円	
エコーマシン	一式	2,200円	
音響ライン	1回路	220円	
音響電源	1KW	220円	
音響仕込	1回	3,300円	

4 その他の器具等使用料

品名	単位	使用料	摘要
司会者卓	1台	1,100円	
展示パネル	1枚	110円	
オーバーヘッドプロジェクター	一式	1,650円	
映像プレーヤー	一式	1,650円	モニターを含む。
コンセント	1回	220円	
浴室	1回	2,200円	
七宝焼器具	一式	220円	
陶芸器具	一式	550円	
染色工芸器具	一式	550円	
金工工芸器具	一式	220円	
陶芸窯(素焼き)	一式	4,400円	
陶芸窯(本焼き)	一式	6,600円	
ガスコンロ	1台	110円	

備考

- 1 使用料は、消費税及び地方消費税を含む。
- 2 使用時間は、午前(午前9時から正午まで)、午後(午後1時から午後5時まで)、夜間(午後6時から午後10時まで)を各1回とし、使用時間を超過した場合は、超過時間1時間(1時間に満たない端数は、これを1時間とする。)につき、規定使用料の100分の30を徴収する。
- 3 地がすり、リノリウム、パンチカーペット、緋毛せん、譜面台、指揮者用譜面台、指揮台、大太鼓、上敷、楽器演奏者用椅子又は展示パネルを同日に2回以上の使用する場合は、前項の規定にかかわらず、1回分の使用料を徴収する。

5 冷暖房使用料

区分	単位	使用料	摘要
暖房	1時間	A 3,850円	文化ホール

冷房	1時間	B 2,310円	文化ホール準備若しくはリハーサルのための使用又はホワイエのみの使用
		C 1,320円	小ホール
		A 4,950円	文化ホール
		B 2,970円	文化ホール準備若しくはリハーサルのための使用又はホワイエのみの使用
		C 1,650円	小ホール

備考 使用料は、消費税及び地方消費税を含む。